

岡山県社会福祉

おかやまけんしゃかいふくし

2020

夏

No.641



～「ふくし」の仕事をしたい人たちより～

特集インタビュー

若年性認知症の介護家族として 「次につながる一歩を考える場所に！」

CONTENTS

社会福祉法人の公益的な取組レポート	4
被災地に寄り添う	5
現場からの発信	6
県社協ニュース	8
赤い羽根共同募金	11
「ふくし」の仕事人たち	12



社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
URL: <http://www.fukushiokayama.or.jp>
Facebook: <https://facebook.com/fukushiokayama/>





次につながる一步を 考える場所に！



今号では、ご主人が「若年性認知症」と診断されたことをきっかけに、認知症のご本人・ご家族・専門職などいろんな人が集い語り合い、次の一步を踏み出すための作戦会議ができる場所として一般社団法人はるそらを設立された多田美佳さんにお話を伺いました。

—ご主人が若年性認知症と診断された時のことを教えてください。

話せば長くなりますが、最初に違和感があったのは夫が35歳の時でした。「何かいつもの自分と違う」と感じていた頃、意識障害で倒れましたが、はつきりした原因は分からないままです。37歳の時には、てんかんの発作が起こり、それまで何でもできていた夫が会社でのミスが

多くなり、夫自身も恐怖を感じていたようです。私も、食器棚に食器を戻せない、靴下を一対にできない夫の様子を見て、「これはただ事ではない」と感じました。その後、43歳で脳梗塞を発症しました。幸い早期発見で後遺症はありませんでしたが、バスの乗り換えができない、ケアで職員と利用者の区別がつかないなど、混乱することが多くなり、「やはりおかしい」という確信に変わりました。様々な医療機関で

診てもらっても家族として納得できるものではありませんでした。また、生計中心者である夫が働けなくなり、私が働かなければいけないけれど、夫からのSOSもある。頼れる両親もおらず、当時大学生だった長男が大学を辞めて帰ってきてくれました。先が見えず、絶望の中、死を意識したこともありました。48歳で若年性認知症と診断された時には、夫は受け止めきれないようでしたが、私自身は「やっぱり」と思う気持ちが大きかったです。

—その後、一般社団法人はるそらを立ち上げられた時の想いを教えてください。

夫は現在、病院に入院しています。それは彼にとつて不本意だと思います。ただ、そこに至るまでの辛い経験を無駄にはしたくない。私たちの経験を活かしたいという想いがありました。様々な相談窓口で、「前例がない。」「会ったことがないから分からない。」「言われませんでした。だからと言って当事者家族は諦めるわけにはいきません。また、診断が出て終わりというわけではありません。「働きたい」という想いはあるが、介護保険を利用すると作業所に通えなくなる。そんな具体的な相談をする場所がない。本人も家族に遠慮して無口になってしまい、気持ちを話せる場所がない。無いなら作ってしまえ、ということでは立ち上げました。

—はるそらの活動内容や今後について教えてください。

現在、毎日来られる当事者の方もおられます。コロナウイルスの関係で事務所を一旦休むことも考えましたが、安心して過ごせる場所として開け続けることにしました。また、認知症のご本人同士で語り合う場を定期的に開催しています。その他、講演や研修会等に呼ばれた時はなるべく当事者の方と一緒に行くようにしています。皆の前で話をした当事者の方が、「他の人にもこの場所からの景色を見せてあげたい」と言われました。それは、顔を上げて、違う世界を見よう、というメッセージだと思っています。

今後は、「はるそらゼミナール」として認知症に関する様々な研修会を開催することや当事者の働きたいという想いに応えるため、対価のある事業もしたいと思っています。後は、私の息子の体験も活かし、「若年性認知症の親をもつ子どもの会」も作りたいです。小さな団体でバックアップがない分、しがらみもなく、皆が本音を言えるところが強みだと思います。これからのいろんな想いを少しずつ形にしていけたらと思っています。そして、「あの人ができたのだから私も…」というように続いてもらえる、居場所がたくさんできて嬉しいですよ。

—読者に向けて、メッセージをお願いします。

街中で会話が聞こえてくる場合があります。「ボケたくない」とか「認知症は大変」とか何気なく言っていますか？当事者はかなり敏感になっています。何気ない一言に傷ついている人がいることも知っています。

また、様々な会議に出席する機会が増えてきました。「困難事例」の検討や難しいケースの対応方法を共有する場など、いつも思うのですが、誰にとつての「困難」なのでしょうか。本人の想いが置いてきぼりで、もどかしさを感じています。本人・家族・専門職の区別なく、一緒に目線で、その人を見る「ネットワーク」が広がってほしいな、と思っています。それが認知症になっても大丈夫なまちづくりにつながるのではないのでしょうか。



岡山駅から徒歩10分ほどのところにある事務所は川沿いに位置し、桜をはじめ季節の移り変わりを感じるができます。また、川向こうには、昔ながらの精肉店や鮮魚店が集まった市場があります。スーパーやコンビニでの買い物苦手な当事者の方が、家族のためにおかずを買って帰ることも。そんな風景が見られることが嬉しい、という多田さん。

Profile

一般社団法人はるそら 代表

た だ み か
多田 美佳 さん

〒700-0023

岡山市北区駅前町 1-10-20

■ Tel/fax
086-230-4834

■ Mail
harusoraegao@gmail.com

■ URL
<https://harusora0404.amebaownd.com>

地域共生社会の実現に向けて!



● 社会福祉法人の公益的な取組レポート ●

津山市社会福祉施設連絡会／子育て応援サポート部会

地域版親子ひろば「すくすく佐良山」



すくすく佐良山の様子



夏に大好評のビニールプール

子育てに悩む多くの保護者にとって、子育て支援に取り組んでくれる保育園の先生がいて、安心して子育てに参加ができる親子ひろばとなっています。



津山保育園 読み聞かせの様子

津山市社会福祉施設連絡会

市内で社会福祉施設を運営する社会福祉法人・宗教法人で構成（50会員）。他に生活応援部会も設置。

津山市社会福祉施設連絡会の子育て応援サポート部会の活動として、津山市社会福祉協議会が運営している市内4か所の親子ひろばのうち、地域版親子ひろば「すくすく佐良山」へ保育園から保育士を派遣する出前保育を行っています。年数回派遣された保育士が子育ての悩みを聞き相談に乗ることで、安心して子育てができる支援に取り組んでいます。

「子育て中のお母さん達は人それぞれ悩みがあります。人に話すことで気持ちが楽になったり、悩んでいるのは私だけじゃないんだ、次の日からの子育ても頑張ろうと思ってしまう。」と話するのは津山市社会福祉協議会の延原裕子さん。

津山市社協 延原さん

初めて出前保育で参加させていただいた第一印象は、子どもたちも落ちついていてとても良い雰囲気だなと思いました。

参加されているお母さん方に話を聞くと、「色々な保育園の保育士さんのお話を聞くことができ、子どもが触つたことがないようなおもちゃもある。お母さん同士で話や交流もできるのでこういう場所があるのはありがたい。」と言われていました。お声かけがあればぜひ今後も保育園として参加したいと思っています。

津山保育園 保育士

安心して子育てができる支援を。



被災地に寄り添う ～西日本豪雨の被災地のいま～

安心した暮らしと 生活再建に向けて



岡山県くらし復興サポートセンター
〈(福)岡山県社会福祉協議会〉

TEL : 086-226-2830

URL : <https://kurashi.fukushiokayama.or.jp/>



平成30年7月豪雨災害から2年を迎えました。被災当時、ご自宅での生活が困難となった被災者の多くは、応急的な仮設住宅（建設型・借上型）に入居されましたが、ピーク時の3,415戸から1,386戸（R2.5月末現在）と減少してきており、恒久的な住まいでの生活に移行してきていることがうかがえます。住宅の再建等によりコ

コミュニティに戻ってくる方がおられる一方、住み慣れた地域を離れ、新たな地域での生活を選択される方もおられます。

現在、応急仮設住宅で暮らされている方は、供与期間の終了に伴う退去や延長申請、災害公営住宅の入居決定など、決断がせまられたり、生活環境が大きく変化する時期となっています。住まいの確保や生活について悩みや不安を抱える方も多く、被災者を取り巻く課題も時間の経過とともに個別化・複雑化してきています。

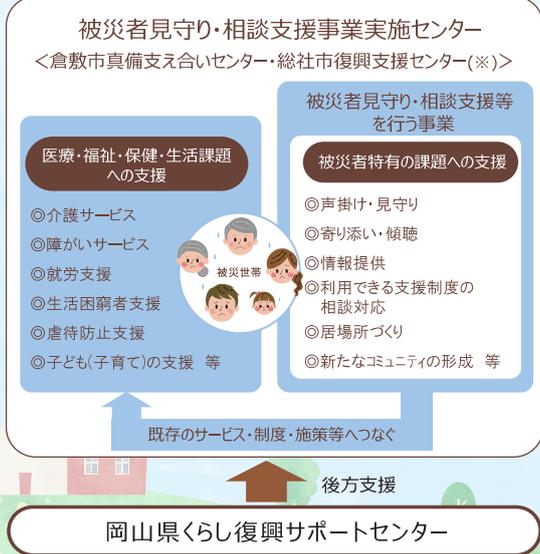
●生活再建に向けた後方支援

こうした被災者の悩みや不安に、寄り添いながら心の内を聴き、様々な生活・福祉課題を発見し、その解決に結びつけていく活動を倉敷市真備支え合いセンター、総社市復興支援センター（※）で行ってきました。私たち「岡山県くらし復興サポートセンター」では、これらセンターの活動に対し、被災者の見守りや相談対応に関する研修、専門職・アドバイザーの派遣、県域での行政や関係機関等との調整など、被災者の安心した暮らしと生活再建に向け、後方支援をしています。支援者が目線を合わせ、一人一人に寄り添うというスタイルを大切に、これからも取り組んでいきたいと思っています。

●支援をつなぐ

現在の課題は、住み慣れた地域を離れて暮らす被災者に十分な支援を届けにくいということ。高齢者世帯、単身世帯、障害者世帯、ひとり親家庭などでは、制度やサービスの連携が必要となってきます。また、身近に話し相手がいなかったり、閉じこもりがち等で孤立化してしまうことも考えられます。そこで、県内どこにいても必要とする支援を受け安心して生活できるように、被災者の方々に応じた見守り支援体制を新たに構築する取組を今年度から始めます。被災された方が現在お住まいの地域の社協を中心に民生委員や自治体等と連携を図りながら、被災者に寄り添う支援をサポートしていきたいと思っています。

《支援体制イメージ図》



※「総社市復興支援センター」は令和2年4月から「総社市被災者寄り添い室」に統合し、行政による事業実施となっています。



支援が行き届きにくい、制度と制度の狭間にいらっしゃる方々に光を当てて、活動されている方や、その取り組みをご紹介します。

今回は、「アライブ岡山」代表船田信也さんの「ものバンク」プロジェクトをご紹介します！

“生命(いのち)と想いをつなぐ”アライブ岡山 「ものバンク」プロジェクト

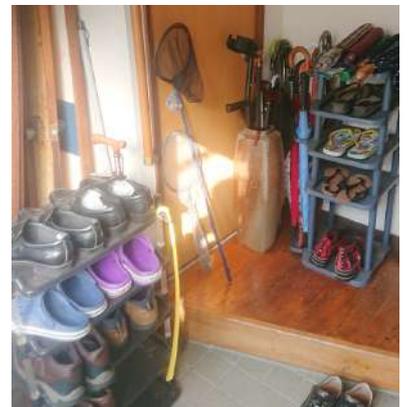
事業の根幹にある想い

アライブ岡山の「ものバンク」プロジェクトは、家財整理の仕事で回収した家具や家電、衣類や日用品などの使える「もの」を、未成年の養護施設からの自立や、生活困窮者・ホームレスの状態から脱却を目指す方々、被災された方々へ生活するための「もの」として支援する活動です。

年間、50〜70件の利用があり、これまで150件以上のケースで活用されています。



アライブ岡山
代表 船田 信也さん



施設入居時などにご依頼の多い靴

※「ものバンク」は不要な物を無料で引き取るサービスではありませんので、寄付等をご検討の方はアライブ岡山の家財整理(有料)から利用をお願いします。

活動を始めたきっかけ

中学生の時に祖父が亡くなり、その時の葬儀の記憶がほとんどないことに衝撃を受け、思い出に残る葬儀をしたいと思い、葬儀社に入りました。

葬儀の仕事をするなかで、本当に遺族の方が大変なのは葬儀後の手続きや遺品整理だと気が付き、家財整理の会社、アライブ岡山を

立ち上げました。

当初はまだ使える物を海外に出し、その利益の一部をアムダを通じてワクチンへ変える活動をしていました。

そのなかで、ある児童養護施設の方から「何かものをいただけませんか？」と聞かれたのがきっかけでした。



食器や洗剤など台所用品



倉庫移転後の様子

寝具や介護用品など、さまざまな「もの」がストックされています。

活動を通じて思うこと

生活をする上で「もの」に困っている方が、岡山にこんなに沢山いらっしゃることに驚きました。自分の仕事でも支援ができるなと思い、「知ってしまったからには他人事ではない」、の考えでこれまでやってきました。

寄付＝無料と思われる方が多いですが、どんな団体でも活動維持に費用が掛かることを理解してくださる方が増えてきて嬉しいです。

今後について

すべて一人ですべてしているので、まだまだ使い勝手の悪い活動です。今後はボランティア募集や、アプリの活用により、もっと利用しやすい活動にしたいと思っています。たまたま仕事と支援が結び付きましたが、私のように何か支援活動をしたと思う方や企業はたくさんいらっしゃると思います。そのような方たちが参加、発見しやすいように、社会福祉協議会等の福祉機関には積極的に情報発信していただけると嬉しいです。

【お問い合わせ先】
▲ライブ岡山

住所：岡山市北区西崎1-7-45
TEL：086-259-0439

※倉庫移転中のため、現在は新規利用団体の受付は休止中です。活動の内容はホームページでも確認いただけます。

http://alive-okayama.com/
※利用にはルールがあります。

※ご依頼・ご相談は、生活困窮者支援団体や社会福祉協議会等の福祉機関を通じておたずねください。

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和2年度

ボランティア活動保険

全国200万人加入!!

保険金額・年間保険料（1名あたり）

保険金の種類	プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	
	ケガの補償	死亡保険金	1,040万円	
後遺障害保険金		1,040万円(限度額)		
入院保険金日額		6,500円		
手術 保険金		入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
通院保険金日額		4,000円		
賠償責任の補償	地震・噴火・津波による死傷	×	○	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)		
年間保険料		350円	500円	

団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増引適用

＜基本プランに加入される方へ＞

基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。

◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。

※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

http://www.fukushihoken.co.jp

ふくしの保険

検索

商品パンフレットは
こちら
(ふくしの保険ホームページ)



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事
保険会社〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03 (3349) 5137
受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)
損保ジャパン日本興亜は、関係当局の認可等を前提として、2020年4月1日に商号を変更し、「損保ジャパン」になります。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03 (3581) 4667 FAX: 03 (3581) 4763
営業時間: 平日の9:30~17:30 (12/29~1/3を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

(SJK19-12918 2020.2.10作成)



新任職員紹介

★四月より地域福祉部地域支援班に配属となりました織田優香と申します。主にゆうあいセンターにてボランティア・NPO、助成金に関する業務を行っています。

大学では、地域福祉に興味・関心をもって勉強してきました。地域社会を取り巻く環境が変化し、ニーズが多様化していく中で、少しでも県民の皆様のお力になりたいと思っております。まだまだ未熟ではありますが、精一杯努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。



井上主事 織田主事

★四月より福祉支援部福祉人材支援班に配属となりました井上桂子と申します。主に福祉職場インターンシップ事業に関することや研修の企画、開催の業務を担当しております。先輩方にご指導いただきながら一つ一つ丁寧に取り組み、成長していきたいと思っております。また、県民の皆様をはじめ、各関係機関の皆様と協働のもと、福祉のまちづくりに尽力していきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

オンライン!
7月7日OPEN(案内)
福祉の就職総合フェア 岡山
夏 on the WEB

岡山県福祉人材センターでは、福祉・介護分野の就職フェアをオンラインで開催します。

福祉人材センター内の特設Webサイト「福祉の就職総合フェア岡山 2020夏 on the WEB」で、期間限定7月7日～8月31日まで県内の働きやすい職場の様々な法人・事業所の紹介、求人情報などを掲載し、将来性のある福祉・介護業界の魅力をお届けします！
福祉・介護の仕事を考えている方、学生、一般、転職を考えている方、

あなたに合ったお仕事探しを応援します。福祉のお仕事ははじめませんか？

オンライン! 福祉の就職

総合フェア岡山2020 夏 on the WEB

「福祉の職場面談ブース」をオンラインで

特設サイトに、岡山県内の働きやすい職場100事業所(予定)を紹介!

就職や転職を考えている学生、社会人、未経験の方など、どなたでも応募可能です。

特設サイトはこちら
7/7公開

期間 令和2年 7/7(火) ▶ 8/31(日)

会場 お好きな場所から閲覧できます。

- 参加事業所のご紹介、仕事内容、求人等(高齢・障害・児童・保育)
- 動画、写真、担当者メッセージなど
- 「オンライン面談」(7月13日～8月7日)予約必須

その他、詳細や面談予約については、Webサイトをご覧ください。

https://jinsei.fukushikokuyama.or.jp/okayama-fukushifair/

福祉のお仕事

お問い合わせ先
〒702-0807 岡山県岡山市中区桑野1-13-1 多岐のプラザ3階
TEL 086-226-3507 FAX 086-801-9190
URL http://www.fukushikokuyama.or.jp

福祉職場未経験の方など、ぜひ好きな時間・場所から閲覧してください!

内容

- 107参加事業所のご紹介、仕事内容、求人等
- 事業所紹介・説明・担当者メッセージ等の動画掲載
- オンライン面談の日程調整(7月13日～8月7日)

要予約

◆ご不明な点は、岡山県福祉人材センターまでご連絡をお願いします。

☎ 086-1226-13507

どこよりも解りやすい 指導監査の個別指導!

経営幹部の方 / 経理・事務スタッフの方

- Q 役員選任には監事の同意が必要?
- Q 監事は評議員会に出席する義務はあるの?
- Q 賞与引当金は必ずしなきゃダメなの?

悩み・疑問を一斉解決!

- 急な指導監査でも…
- ・慌てない
- ・困らない
- ・採めない



SCB福祉サポート担当 いしはら

～笑顔で働ける福祉・介護の職場づくりを目指して～

おかやま★フクシ・カイゴ職場

すまいる宣言

昨年度後期に5法人・57事業所が「五つ星宣言事業所」として新たに登録されました。すべての「すまいる宣言」事業所はホームページからチェックしてみてください。

すまいる宣言 岡山

検索 

社会福祉法人 純晴会 (倉敷市)

【五つ星事業所】
★★★★★

宣言登録番号
OKA00006

特別養護老人ホーム
浮洲園(従来型)など
8事業所

「介護から快護へ」をモットーに浮洲園は「あいさつ」で安心を伝え、ご利用者・ご家族が笑顔で過ごすように日々精進しております。浮洲園と関わる地域全体の絆を大切に、「共に笑い、共に生きる」の法人理念を元に一歩ずつ歩んでいきます。



医療法人 たくふう会 (岡山市)

【五つ星事業所】
★★★★★

宣言登録番号
OKA00007

旭竜クリニックなど
13事業所

たくふう会は、「医療と介護の連携・調和」を理念に掲げ、患者様及び利用者様が住み慣れた地域で安心して過ごせるよう、医療・児童・障がい・高齢の総合的なサポートを行っています。認知症カフェや地域行事への参加を通じて、「共生社会の実現」を目指しています。



社会福祉法人 恩賜財団済生会 支部 岡山県済生会 (岡山市)

【五つ星事業所】
★★★★★

宣言登録番号
OKA00008

特別養護老人ホーム
みなみがた荘など
17事業所

岡山県済生会は、病院との医療連携により、医療・保健・福祉サービスを一貫して提供できる「安心と信頼」のネットワークを構築し、理念に掲げた「あらゆる人々に手をさしのべる済生の心」で、地域とともにソーシャルインクルージョンの実現を目指しています。



社会福祉法人 鷺山会 (倉敷市)

【五つ星事業所】
★★★★★

宣言登録番号
OKA00009

特別養護老人ホーム
倉敷シルバーセンターなど
11事業所

「ひと、かがやく介護」の法人理念のもと、高齢者介護事業を倉敷と岡山で多数展開中です。誰からも愛される仕事ができるよう、人材の育成に力を入れています。福利厚生充実の充実の努力、長く安心して楽しく働ける職場づくりを目指しています。



社会福祉法人 愛誠会 (新見市)

【五つ星事業所】
★★★★★

宣言登録番号
OKA00010

特別養護老人ホーム
唐松荘など
8事業所

地域の高齢者を支えながら、「やりがい」や「楽しさ」にあふれ自分のワークライフが充実して送れるように「学ぶ・チャレンジできる・応援してくれる・楽しさがある」など、各々のキャリアを支援する仕組みがあります。地域の介護人材として専門職の誇りと自信を持ちながら、スタッフが明るく活発に取り組んでいる施設です。



観光庁長官登録旅行業第55号
(社)日本旅行業協会正会員ボンド保証会員
岡山市北区幸町8-29 大樹生命岡山ビル9階

TEL:086-225-2771 Fax:086-225-7494 担当:中西・深井・三鬼

☆国内・海外を問わず、安全で快適な旅行をしたい!

☆日帰りで豪華な食事がしたいんだけど、どこが良いかな?

☆予算がないんだけど1泊2日でどこか行きたいな~!

☆個人で出張や家族旅行で切符やホテルの手配が必要なのですが...

旅行の事ならなんでもご相談ください。様々なご相談、見積、手配もいたします。





「セブンイレブン・ジャパン様から商品の寄贈をいただきました」
新型コロナウイルス緊急支援 食料等約8,900個を配布

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、日常生活に困難を抱える個人や世帯が急激に増加していることを受け、本会はセブンイレブン・ジャパン様からの寄贈商品を県内関係機関・団体へ配分しました。

まず、3月に学校が休校措置を取られていることを受け、お菓子と施設で遊べる玩具類を、県内市町村社会福祉協議会を通じて学童保育施設等、また児童養護施設こどもの居場所実施団体へお渡ししました。

【寄贈品】	
菓子類 3種	1,680個 (150箱)
玩具 5種	60個 (12セット)
【配分先】 13か所	
市町村社会福祉協議会	
児童養護施設 (岡山県地域公益活動推進センター会員)	
こどもの居場所実施団体	



学童保育の子どもたちからのお礼状

また、4〜6月にかけては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う休業・失業等により、生活に困らている方・世帯の食事を支えるため、さんまの缶詰を配分しました。これらは、新型コロナウイルス感染症の影響による減収等でお困りの方向けの資金貸付の申込窓口となっている市町村社会福祉協議会や、生活困窮者自立相談支援機関、岡山こどもの居場所連携事業に参加するこども食堂、ホームレス支援団体を通じて、食料や食事の支援が必要な方たちのために活用いただいております。

【寄贈品】	
さんまの缶詰 2種	7,200缶 (150箱)
【配分先】	
市町村社会福祉協議会	
生活困窮者自立相談支援機関	
こどもの居場所実施団体	
こども食堂	
ホームレス支援団体	

岡山県社会福祉協議会は、(株)セブンイレブン・ジャパン様と商品の寄贈に関する取り決めを交わしており、平時から本会を通じて県内市町村社会福祉協議会等、関係支援機関・団体へ配分し、生活に困窮される方の支援や地域のささえあい活動等に活用いただいています。



お問い合わせ

地域福祉部 地域支援班
☎ 086-226-2835

“お車の共済の事なら！”



お見積り、ご相談、無料で承りますので
お気軽にご連絡下さい！

岡山県支部 〒700-0927
岡山市西古松 237-126 松本ビル3F
TEL086-246-3355 FAX086-246-3375



【本部】福岡市博多区東比恵 2 - 1 5 - 2 5
TEL : 092-441-5901

NJ730.1603.0250.999999

通信で
社会福祉士
めざすなら



第32回国家試験
合格率 **38.8%**
広島県内 **第2位** (通称5校中)
※全国平均:29.3%
社会福祉振興・試験センター調べ

教育訓練給付金(専門実践) **50%** 給付



学校法人 穴吹学園
穴吹医療福祉専門学校

福山 穴吹 社会福祉

検索

2021年度生
7月募集開始

TEL 084-931-3325



赤い羽根共同募金

岡山県共同募金会



令和元年度共同募金配分 (令和2年度事業実施分)

令和元年度に県民の皆様からお寄せいただいた募金について、配分先が決定し、配分を受ける施設・団体へ郵送にて配分決定通知書を交付させていただきました。お寄せいただいた募金は各施設・団体の活動等を通して地域福祉の更なる向上に活用されます。ご協力いただき誠にありがとうございました。

配分先・事業	内 容	配分額 (円)
県・市町村社会福祉協議会	地域福祉活動費等	163,890,000
民間社会福祉施設	備品・車両整備費等	14,020,000
民間県域福祉関係団体	活動費等	7,050,000
赤い羽根ボランティア団体・NPO活動支援事業	ボランティア団体・NPO活動費	600,000
赤い羽根共同募金「地域ささえあいプロジェクト」	NPO活動費等	11,770,000
NHK 歳末たすけあい2次配分	福祉施設の備品整備	1,660,000
合 計		198,990,000

赤い羽根 子どもと家族への緊急支援活動助成事業

この度の新型コロナウイルス感染症の影響により、日常生活に困難を抱える方々への様々な支援活動を応援するため、宇野碩正財団寄付金を活用し、緊急に助成先公募を行い、下記の通り決定いたしました。配分決定した助成金は5月から6月末にかけての各団体の活動に活用されました。



助成先一覧

- ・おかえりこども食堂
- ・特定非営利活動法人オカヤマビューティーサミット
- ・さいさい子ども食堂
- ・特定非営利活動法人志塾フリースクール
- ・うのっぺ食堂運営委員会
- ・特定非営利活動法人岡山市子どもセンター
- ・あったか食堂プラザ旭東
- ・認定特定非営利活動法人ハーモニーネット未来
- ・特定非営利活動法人f.saloon

子どもたちの明るい未来づくりへの助成事業

現在、県内で多くの子ども食堂の活動が展開されておりますが、その活動資金の不足や人材の不足など、安定した活動を行うにあたって、様々な問題を抱えている団体も少なくありません。

そこで本会では、子ども食堂の運営基盤を強めることを目的に、4か所の子ども食堂に対して運営経費にかかる費用等の助成を決定いたしました。

ありがとうメッセージ

《 つばくろ認定こども園 》

この度、共同募金の助成金で殺菌保管庫を整備させていただきました。
 おかげさまで、おもちゃをこまめに殺菌することができるようになり、より清潔で衛生的な環境を提供できるようになりました。
 集団保育を行う中で、感染症などのリスクを減らし、一人でも多くの園児が元気で楽しく生活を送れるようにしていきたいと思っております。
 本当にありがとうございました。





Vol.50
『ふくし』の
仕事人たち
施設・団体等で働く「ふくし」の
仕事に携わる人たちの声を
紹介していきます。

安心して帰って来られる場所
子どもたちのふるさとでありたい

児童養護施設 若松園
施設長(常務理事) 津嶋 悟 さん

「ふくしの仕事」をはじめたき
っかけは？

母が幼稚園の先生だったこともあり、小さい頃から何となく子どもに関わる仕事をしたいと思っていました。高校の時に児童養護施設の存在を知り、福祉系の大学へ進学し、まずは児童養護施設とはどんなところなのか知ろうと思いい、家から一番近かった若松園で学習支援のボランティアを行うことに。それがきっかけとなり、実習もアルバイトも若松園で。最後の日に子どもたちが泣きながら見送りをしてくれて。せつかくできた子どもたちとの関係を終わらせたくないと思いい、そのまま就職しました。

仕事をするうえで大切にしている
ことは？

1つは、自分たち大人の特技や趣味、好きなことを子どもたちに還元することです。大人への不信任が強い子どもたちがどうやったら大人への憧れを抱き、信頼してくれ

◆今後、どんな「仕事人」になりたい？

帰る場所がない、帰るべき家族がないという子どもたちの帰って来やすい場所にしていきたい。退所してからも気兼ねなく帰って来られる「ふるさと」にしたいと思っています。また、H30年より児童家庭支援センターも開設したので、地域からも頼りにされる拠点になりたいと思っています。

◆趣味は？

キャンプ、アウトドア、読書など。園内の草刈りや手入れ、日曜大工も趣味の一つで、とにかく多趣味。一番の趣味は「若松園」だと職員には言われている。

【施設名】
社会福祉法人 備作恵済会 若松園
児童養護施設 若松園
【住所】 岡山市中区海吉206番地
【TEL】 086-277-2261

福祉の仕事の魅力はどんなところ
ですか？

幼い頃からここで育っている子
がこの春から社会人になりました。
社会に出て働くことの大変さを実
感したようで、「自分は1日8時間
働いただけですごく疲れているのに
ここの職員は、自分たちのためにい
つたい何時間働いとん？ほんとにす
ごいと思う！」と感謝を伝えてく
れた時には、本当にこの仕事をし
ていて良かったと思いました。

るか。自分たちが心から楽しいと思
うことを一生懸命やっている、生
き生きとした姿を子どもたちに見
せて、子どもたちにとって憧れの存
在になることが大切だと思っていま
す。2つめは、子どもの可能性を
最大限に引き出すことです。色々
な縛りがある中で自由に何でも
ということが難しい時もあります
が、いろんな機関に掛け合いなが
ら子どもたちが興味を持ったことは
やらせてあげたいと思っています。



機関紙「岡山県社会福祉」への
ご意見・ご感想をお寄せください！

ご意見・ご感想をいただいた方の中から3名様にももるんじゃーグッズをプレゼントします。

機関紙へのご意見・ご感想、住所、氏名、年齢をご記入の上、下記までお送りください。

■ 郵 送：〒700-0807 岡山市北区南方2丁目13-1 きらめきプラザ3階
岡山県社会福祉協議会 広報班
■ FAX：086-227-3566 まで

なお、当選の発表は
商品の発送をもってかえさ
させていただきます。

